

 <p>市長 原田英之</p>	<p>静岡県 <sup>ふくろ</sup> 袋井市 <sup>いし</sup></p>  <p>市章</p>  <p>袋井市キャラクター フッピー</p>	<p>【データ】 ※平成 31 年 4 月 1 日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口： 88,221 人</li> <li>・世帯数： 34,587 世帯</li> <li>・面積： 108.33k㎡</li> <li>・市の花： コスモス</li> <li>・市の木： キンモクセイ</li> <li>・市の鳥： フクロウ</li> <li>・特産物： 米、茶、マスクメロン</li> <li>・主な行事・イベント： <ul style="list-style-type: none"> <li>ふくろい遠州の花火(8月)</li> <li>ラグビーワールドカップ 2019 (9月～)</li> <li>どまん中ふくろいウオーク(10月)</li> <li>全国だんごまつり (11月)</li> <li>クラウンメロンマラソン(12月)</li> <li>全国エアロビック選手権大会(1月)</li> </ul> </li> </ul>
--	---	---

### ◆袋井市の紹介



日本一のマスクメロン

袋井市は、静岡県の西部に位置し、全国的にも日照時間が長く、豊かに広がる田園や美しい茶畑、市域を流れる太田川と原野谷川、更には遠州灘など豊かな自然環境に恵まれています。遠州三山(法多山尊永寺、萬松山可睡齋、医王山油山寺)に代表される古刹・名刹もあり、古くは、東海道五十三次のどまん中の「袋井宿」として栄えました。昭和 44 年の東名高速道路開通後は、米、茶、温室メロンに代表される農業に加え、工業、商業の集積が進み、農業・商業・工業のバランスがとれた田園型都市として発展を続けています。

### ◆健康都市の取り組み

袋井市は、合併前の平成 5 年 11 月に「日本一健康文化都市宣言」を行い、平成 17 年の合併後にも、市制施行 5 周年を機に、改めて「日本一健康文化都市宣言」を行い、平成 28 年に「日本一健康文化都市条例」を制定しました。

#### 日本一健康文化都市宣言

～人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市～  
 青く輝く海原と緑あふれる大地に抱かれ、先人によって築かれたふるさとふくろいを、わたしたちは受け継いできました。  
 この恵まれた地域で、心やからだの健康を増進することはもとより、健康生活を支える自然を守り、地域社会を充実させていくことも、わたしたちみんなの願いです。  
 わたしたちは、健康意識を高くもち、一人ひとりが「心の健康」、「からだの健康」、「まちの健康」を追求し、すべての人びとを幸せにしていきます。  
 わたしたち袋井市民は、住んでよかったという喜びを実感できるまちを目指し、ここに袋井市を日本一健康文化都市にすることを宣言します。

平成22年5月16日

### ◆袋井市健康づくり計画

袋井市では、すべての市民が健やかで、心豊かに生活していくための「健康づくりの指針」として「健康づくり計画(H28-H34)」を策定しました。

計画の「めざす姿」を、【生活習慣病予防と介護予防により「市民がともに進める」健康寿命の延伸～お達者度『県下一』をめざします！～】とし、一人ひとりの主体的な健康づくり活動が活発になるとともに、年代に応じた様々な健康支援が提供される環境の整備により、市民がともに健康寿命の延伸に向けた取組を進めます。

### ◆フッピー健康ポイント事業「#2961ウオーク」

平成19年度から、全国に先駆けてフッピー健康ポイント事業（健康マイレージ制度）に取り組んできましたが、平成29年度に10年の節目を迎えたことから、これまでの自らで目標を立て、自らでその達成状況を登録する制度から、誰でも、いつでもどこでも取り組み易く、取組効果が分かりやすい「歩く（歩数）」を主としてポイント化するシステム「#2961ウオーク」にリニューアルし、活用を推進しています。

個人での利用はもちろん、企業・事業所等における従業員の健康づくり推進のためのツールとして御活用いただくなど、平成31年3月31日までに、3,000人以上の方に御登録をいただいています。

令和3年度までに登録者数5,000人以上を目指して、今後も事業の推進を図っていきます。



### ◆健康経営推進の支援

これまでの地域における健康づくりの推進に加え、企業・事業所が取り組む「健康経営」を支援し、働く世代の健康づくりを推進しています。

健康経営の支援に伴う企業・事業所訪問を通じて、健康経営に取り組む事業所等を「袋井健康経営チャレンジ事業所」として御登録いただき、行政と一緒に、「①行政主体の取組【Step1】、②行政・事業所等との協働の取組【Step2】、③事業所主体の取組【Step3】の3段階」で健康経営の取組を実践していただいています。

平成31年3月末現在で、市内70の企業・事業所に参画していただいておりますが、令和3年度までに200以上の企業・事業所に参画いただくことを目標に、企業・事業所訪問を実施しています。

事業所登録をすることで、市健康づくり課と事業所等の人事担当部署（者）等とのネットワークを構築するとともに、事業所等と連携し、より一層働く世代の健康づくりを促進していただけるよう、事業を展開していきます。

### ◆市民の活躍

市内約150の自治会から、男女各1人が「健康づくり推進員」として選出され、毎年300人を超える市民が、任期1年、無報酬で地域における健康づくりの推進のために活躍しています。

「健康づくり推進員」の主な活動内容は、地域住民への健康情報の発信、地域の集会所で開催する「公会堂出前健康教室」の企画・開催、各種イベントでの健康コーナーの開設のほか、平成30年5月からは、毎月1回、地域づくりの拠点となる各地区のコミュニティセンター（市内全14館）で、健康情報の発信や健康相談等の機会を提供する「出張保健センター」の開催を支援するなど、地域住民の健康意識の高揚を図る活動をしています。

### ◆第8回健康都市連合国際大会で5つのアワードを受賞

平成30年10月17日から19日まで、マレーシアで開催された「第8回健康都市連合国際大会」に参加し、本市が市民とともに四半世紀に渡り取り組んできた「日本一健康文化都市」の実現に向けた多くの施策・取組が評価され、WHO表彰及びAFHC賞併せて延べ52都市・団体から論文応募があった中、5つの賞を受賞させていただきました。

今後も、「健康」をテーマとして、誰もが生き生きと安心して暮らすことができるまちづくりを進めていきます。



静岡県袋井市総合健康センター（はーとふるプラザ袋井）

健康づくり課健康企画室 電話(0538)84-6127 FAX(0538)42-7276